



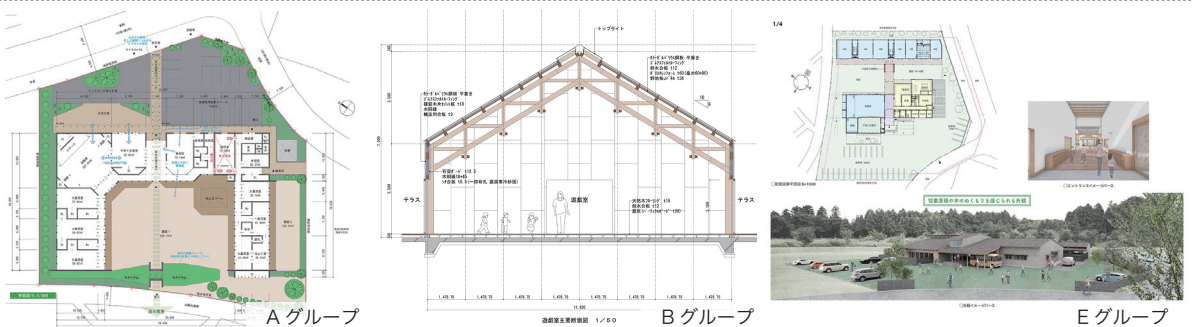
参加者	建築士 14名 / 修了者 12名	木材供給者 11名 / 修了者 10名	発注者 8名
-----	-------------------	---------------------	--------

1 9/2 金	2 9/3 土	3 9/30 金	4 10/21 金	5 11/4 金	6 12/9 金
---------------	---------------	----------------	-----------------	----------------	----------------

対象者
建築士
木材供給者
発注者
各自プラン検討(自主学習・発表準備)
対象者
建築士
グループでプレゼンまとめ
グループでプレゼン

設計課題【びわ湖材でつくる保育園】	<p>講義 山と地域をつなぐ建築概論</p> <p>講義 びわ湖材の基礎知識</p> <p>講義 びわ湖材の環境貢献と地域経済効果</p> <p>グループワーク びわ湖材でつくる木の建築づくりの不安や疑問</p> <p>設計課題 課題内容の発表・グループ分け</p>	<p>講師 安田 哲也 NPO法人サウンドウッズ 代表理事</p> <p>講師 淵上 佑樹 三重大学大学院 生物資源学研究科准教授</p>	
	<p>講義 木造の耐久性設計と維持管理</p> <p>視察 林業現場、森林組合の見学</p> <p>視察 施業済み森林の見学</p> <p>視察 木造施設〈琵琶湖汽船今津営業所〉見学</p>	<p>講師 原田 浩司 木構造振興株式会社 客員研究員</p> <p>会場 (高島市) グリーンパーク 想い出の森</p>	
	<p>講義 木の保育園の設計事例とコストの話</p> <p>会場見学 木造施設〈多賀町中央公民館〉見学</p> <p>グループワーク びわ湖材を使った中大規模建築を造っていくために実行すること</p> <p>設計課題 ラフプラン発表・講評</p>	<p>講師 古川 泰司 アトリエフルカワ 一級建築士事務所代表</p> <p>会場 (犬上郡多賀町) 多賀町中央公民館</p>	
	<p>講義 一般流通材で魅せる構造計画</p> <p>事例紹介 びわ湖材建築の事例紹介 発表者：b.i.n木村敏建築設計事務所 木村 敏 (R3修了建築士)</p> <p>会場見学 木造施設〈滋賀県林業会館〉見学</p> <p>設計課題 構造設計中間発表・講評</p>	<p>講師 山田 憲明 山田憲明 構造設計事務所代表</p> <p>会場 (大津市) 滋賀県林業会館</p>	
	<p>講義 木を活かす防耐火のデザイン</p> <p>会場見学 木造施設〈びわ湖地球市民の森〉見学</p> <p>事例紹介 びわ湖材建築の事例紹介 発表者：(株)大村建築設計事務所 大村 悟子 (R3修了建築士)</p> <p>設計課題 防耐火設計中間発表・講評</p>	<p>講師 安井 昇 桜設計集団代表</p> <p>会場 (守山市) びわこ地球市民の森</p>	
	<p>設計課題 設計提案 最終プレゼンテーション・講評</p> <p>事例紹介 びわ湖材建築の事例紹介 発表者：(株)片淵建築事務所 松田 次功 (R3修了建築士)</p> <p>会場見学 木造施設〈滋賀県立大学湖風会館〉見学</p>	<p>講師 安田 哲也 平居 晋 松田 次功 (R3年修了建築士)</p> <p>会場 (彦根市) 滋賀県立大学 湖風会館</p>	

グループでプレゼンまとめ



提案内容について参加者同士でも意見交換を行った

びわ湖材建築推進協議会の設立検討
 セミナー受講者の声により、びわ湖材建築普及のための協議会設立を目指し、準備を進めています



合宿・懇親会
 受講者同士の交流を促す為、連続セミナー時の合宿や、セミナー終了後に懇親会を行なっています (自由参加)

参加者の Before ▶▶ After

セミナー参加前と参加後、参加者にどのような変化があったのかインタビューしました

木材供給者 発注者 建築士

Before

びわ湖材の知識を得たい

弊社では、メイン材を米松からびわ湖材に転換したこともあり、よりびわ湖材の知識を得る為に参加させて頂きました。



株式会社土山木協 伊藤 芳廣

After

情報共有や連携大切

それぞれの立場の人の意見を聞くことが出来、情報共有や連携の大切さを感じました。



ベストハウスネクスト株式会社 富田 英里

Before

びわ湖材建築増やしたい

「木が大好きな工務店」で働く私は、「びわ湖材の建物が滋賀のここかしこに建つとすてきな」と思い参加を決めました。

After

楽しく受講、仲間増やしたい

建築初心者ですが、運営事務局の方の細やかな配慮で、不安なく楽しく取り組みました。

学んだことは、「そもそもびわ湖材とは?」「びわ湖材を使うメリット」「木の本当の性質」等々。そして、セミナーは受講後の行動こそが大事だと言いますが、まさしくその行動を皆で始めています。仲間が増えるとうれしいです。

Before

大規模木造設計の知識得たい

業務の中で大規模木造の計画に携わったことで、木造建築についてより深く知りたいと感じたことが参加のきっかけでした。



株式会社アサヒ設計 西村 卓馬

After

実務に直結する講義

セミナーでは実務に直結する構造と防耐火に関する講義は期待以上の内容で講師の先生方とも良い関係を構築できたことが一番の成果でした。セミナーを通して取り組んだプレゼンテーションでは社内で行うものとは考え方も手法も異なり、今後の業務にも活かせる貴重な経験となりました。



中西敏建築研究所 中西 敏

Before

木造住宅の技術活かせる

脱炭素社会に向けて木材活用と森林資源の持続は重要であり、個人設計事務所や小規模工務店が木造住宅の設計・施工で培ってきた技術や経験は、今後拡大する県産材を使った中大規模木造建築においても活かすことができると思います。

After

協議会の設立を期待

プロジェクトの活性化や技術向上のためにも、セミナーでのネットワークを活かした協議会の設立を期待しています。

Before

地域経済に貢献したい

地域に根付いた設計施工会社として、地元の木材を活用することで地域経済に貢献するような提案ができるようになりたいと考え、参加しました。



株式会社澤村 南 勇次

After

社内で報告、木造の魅力を共有

セミナーでは、設計課題と講義を通して知識を整理し、設計提案としてアウトプットできたことが大きな力になりました。チーム内で議論をしながら進めることでお互いが理解を深めることができたこともよかったです。社内でも報告を行い、木造の面白さを共有し、HP等で少しずつ集客を図るうとしています。



高島市森林組合 清原 猛史

Before

川下の面識を広げたい

木材生産をする者として、川下の事業者さんとの面識を広げたいと思い参加しました。

After

川上～川下理解深まった

設計者、発注者といった他の立場の方の仕事内容や疑問、悩みを聞くことができ良かったです。

当組合が森林整備を実施した山や木材の中間土場にも視察に来ていただき、川上側の仕事内容について理解を深めて頂けたことは、非常に有り難かったです。このような有意義な場には、これからも職員を積極的に参加させていきたいと考えています。

Before

びわ湖材使用のメリットは?

県でも木造推進をしていますが、正直なところびわ湖材を使用することでどういったメリットがあるのか把握していませんでした。

After

木造は可能性に溢れた構造

公共建築の発注において、びわ湖材を使用することは、県内への経済的な波及効果が大きいことを数値で示して頂き、非常に腑に落ちる講義でした。

また、木造に対しての苦手意識は無くなり、可能性に溢れた構造、材料であるという認識に変わりました。



滋賀県庁建築課 山口 和紀



甲賀市建設部住宅建築課 岡田 陽介

Before

公共建築を木造に

当市では、今後整備する物件は、木造・木質化を検討することになったことが参加のきっかけです。

After

木造プロジェクト進行中

セミナーでは、設計者や木材供給者の本音が聞け、県産材の魅力や可能性を知ることができました。

直近のプロジェクトでは、セミナーに参加した設計者からのアドバイスを基に、内装の木質化を図りました。また現在、木造のプロジェクトが3物件進行中です。今後、地産地消を目的に公共建築から積極的に県産材を採用したいと考えています。

Before

環境の変化に対応、中大規模木造の知識必要

弊社は、これまで中規模木造は積極的に取り組んできました。しかし、昨今の木造建築物を取巻く環境の変化についていくには木造の知識が必要になると考え、2年で4名のスタッフが参加しました。

他の工法と比較しても、経験と手間がかかる中大規模木造の設計をチームで進める際、同じ事務所内で木造建築の共通言語を共有できることは、非常に有効で大事なことだと考えています。



株式会社片淵建築事務所 松田 次功

After

S造、RC造との違いを理解し提案することが重要

当セミナーの魅力はなんといっても、木造設計の第一線で活躍されている講師陣による講演だと思います。木造の設計手法や木材の流通の仕組みなどが体系的に学べ、まるで自分の言葉のように理解できたことではないでしょうか。木造、S造、RC造それぞれにメリットとデメリットが存在しますが、設計者としてそのことを理解し、施主に提案出来ることが重要だと思います。そのためにも、セミナーで得た中大規模木造の知識は今後の業務の一助となると思います。